

事業報告書

団体名： 特定非営利活動法人アシスト ふれあいハート

1. メニュー名	(1) スタート事業 該当するメニューを○で囲んでください (2) ステップアップ事業 (3) 市民連携事業
2. 事業名	子育てひろば「まな」
3. 実施場所	NPO 法人 アシスト ふれあいハート 児童発達支援事業所「くくあ」 京都学園大学亀岡キャンパス
4. 実施期間	平成 30 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日
5. 目的と課題	支援金申請書に書いた、申請事業の目的と設定した地域の課題を改めて記入してください。

全国的に核家族化、保育の待機児童、ワンオペ育児は、いずれも大きな社会問題である。これらにより、子育て世代への子育てに関する情報不足、孤立化、負担増、子育てで生じる困難への対処の遅れが危惧されている。

亀岡市においては、いったん市外に転出した子育て世代のUターン支援を中心とする移住・定住促進を主軸に据えた「地域再生計画」が進められており、年々、新興住宅地が拡大している。今後、さらに子育て世代の転入増加が見込まれる亀岡市においても、全国的な育児をとりまく問題の波は例外ではなく、子育て支援は亀岡市民にとって重要な課題といえる。

育児とは、忙しい日常生活の中で休むことなく毎日繰り返すものである。疲労、悩み、ストレスに晒され続ける保護者のサポート、および人間形成のごく初期である乳幼時期の発達支援は重要であり、その世帯や家庭だけではなく居住する地域社全体で取り組むべき課題である。特に、療育機関や保育園等の利用のない世帯へのサポートは散見する程度であることを見逃してはならない。

また近年、発達障がいについてメディアでも取り上げられる機会が増え、社会的に認知度は高まりつつある。しかし、その発達の特性や子育ての実態はまだ知られていないものが多く、より良い支援の拡大、ならびに社会的なマイナスイメージの払拭は、発達障がいまたはその周辺にある子ども育児において喫緊の課題である。早期療育の機会を逃さないためにも、誰もが気楽に、専門性のあるスタッフによる育児相談のできる場所が地域に根付いていくことの必要性はきわめて高い。

6. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(実施スケジュール、会場、内容、講師名、参加者数、参加者の声、その他情報など)
---------	---

【概要】

児童発達支援事業所「くくあ」において、子育てひろば「まな」を週に1回、無料で実施する。

対象は、亀岡市に在住する0歳から就学までの乳幼児とその保護者とする。

スタッフは、発達支援に特化した保育士、作業療法士、音楽療法士が中心となっていく。

保護者のリフレッシュの場、親子で楽しめる保育を提供し、育児相談に応じる。コーヒープレイクなどを通して保護者同士の交流を図り、本事業に留まらない保護者同士のつながりを広げていく。

(具体的な活動内容は添付のチラシ、および活動内容一覧を参照)

また、地域情報の提供などを積極的に行い、コミュニティネットワークを拡大する。

年間で各1回、計2回にわたり、市民公開セミナーと市民公開学習会を開催して、地域社会への情報発信とともに地域における子育ての協同を図る。

相談支援事業所、児童発達支援事業所を有する本団体の特性を生かし、必要に応じてスムーズに相談支援につなげる。



【実施回数と実施時間】

4月 3回	10月 4回
5月 4回	11月 5回 (うち、1回は市民公開セミナー)
6月 3回	12月 5回 (うち、1回は市民公開学習会)
7月 4回	1月 4回
8月 2回	2月 4回
9月 3回	3月 4回

・定期開催時は、毎週火曜日10時～11時半に開催した。各回で、子育て相談を行った。

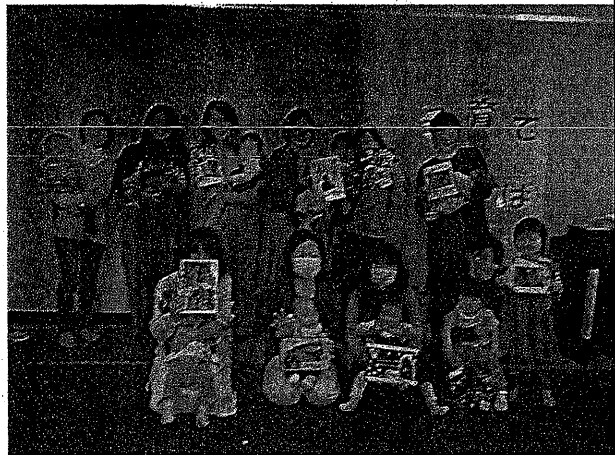
・市民公開セミナーおよび市民公開学習会は定期開催以外に追加で実施した。(詳細は別紙の開始案内を参照)



【会場】

・定期開催時と市民公開学習会は、児童発達支援事業所「くくあ」にて行った。

・市民公開セミナーは、京都学園亀岡キャンパスにて行った。



【実施内容】

* 定期開催

・別紙参照。

* 市民公開セミナー

・講演 「心の安心の貯金通帳～子どもの自己肯定感を育てるために大切なこと」

講師：家森百合子（家森クリニック理事長、小児神経科医）

・書籍販売

・コーヒー販売

- ・活動紹介
- ・おもちゃ貸し出し
- ・アンケート実施（研修会アンケート／子育てお悩みアンケート）

＊市民公開学習会

- ・講演 「子どもを魅了する感覚の世界～スヌーズレンに学ぶ～」

講師：新井紀子（作業療法士）

- ・ミニスヌーズレン体験
- ・茶話会・相談会
- ・手作り感触グッズ紹介

【参加者数】

＊定期開催

- ・詳細は別紙の「実施日程と参加者数」に記載。
- ・子育てひろば参加者 延べ 368 家族（保護者と子どもの合計延べ 743 人）
- ・子育てひろばでの相談件数 延べ 87 件

＊市民公開セミナー

- ・参加者 86 名

＊市民公開学習会

- ・参加者 6 家族（保護者と子どもの合計 13 名）

【参加者の声・相談内容】

＊定期開催

- ・子どもの発達に関して（哺乳、離乳食、寝がえり、首の座り、未座位、四つ這い、歩容、ジャンプ、不器用、目の使い方、人見知り、場所見知り、偏食、トイレ、気持ちの切り替え、イヤイヤ、発語遅延、構音不明瞭、言葉が少ない、コミュニケーションの乏しさ、多動、通園拒否、夜泣き、夜尿、触覚過敏、など）
- ・家事、育児の方法について
- ・子どもの遊び場所
- ・子どもとの遊び方
- ・玩具の質問、紹介
- ・医療、療育機関の紹介

＊市民公開セミナー

<アンケートより> 回収率 71%

1 参加者について（人）

子育て世代 27、福祉関係者 24、教育関係者 9、医療関係者 6、学生 3、その他 3

2 セミナーを何で知ったか。

ふれあいハート 15、保育所 13、きらり☆亀岡お知らせ 5、亀岡市 HP5、亀岡市役所 4、facebook3、



亀岡市こども未来課 2、京都新聞丹波版 1、南丹保健所 1、亀岡市立図書館 1、ガレリア 1、サンスポ 1、研修会等 1、亀岡市保健センター 1、幼稚園 1、学校回覧 1SEIYUO、アミティ 0、アルプラ 0、マツモト 0

3 研修会の内容について (%)

*講演 とても満足 65、満足 16、ふつう 5、やや不満 2、不満 0

- ・子育てに行き詰っていたので大変勉強になりました。専門的な話も分かりやすく、おもしろかったです。
- ・「まるほど」と思うことが多くありました。頭の中に色々な顔が浮かび、納得することが多く、関わり方の見直しになりました。
- ・内容にはとても満足。もっと聞きたかったです。時間が少し足りない気がしました。

*質疑応答 とても満足 50、満足 32、ふつう 17、やや不満 1、不満 0

- ・先生の返答の内容がわかりやすくとても濃く、分かりやすかったです。
- ・発達症についてあまりよく知らなかったのですが、特性として考えると気をつけられて対策も考えられるので、役立つな、と思いました。
- ・ゲームへの向き合い方が聞けてよかったです。

4 今後の活動への要望

- ・とてもためになりました。このような企画をこれからもシリーズで続けてほしいです。
- ・子どもを連れていったけれど、おもちゃが用意されていて助かりました。託児があるともっと子育て世代の参加が増えると思います。
- ・もっと色々な型に向けて発信して行ってください。

5 子育てのお悩み相談箱

- ・特性のある子どもの子育ては本当に大変です。人に言えない悩みを言える場がほしい。
- ・行政の活動は「やっています。来てください」ばかりで行きづらい人には届かない。土日の対応、出張窓口、通いやすい雰囲気づくりが足りない。
- ・親の離婚や死別、病気などで、子どもに辛い目をさせたことが、今の子どもの気になる行動に影響しているのかと悩んでいる。

* 市民公開学習会

- ・子どもの発達に感覚が大きく関係していることが分かった。
- ・リラックスする感覚の環境とは、集中する感覚の環境とは、など普段は気にしないことについて知れてよかった。
- ・子育てのストレスを抱えている親こそが、心地良い感覚で満たされて穏やかになること、それも子どものためになる、という話が心に残りました。自分は忙しく、イライラして怒ってばかりなので。

7. 成果と課題 事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果と課題を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。

全ての企画に対して、事前目標を超える参加者、相談件数を超えた。単発の参加でも相談ができたり「よかった」と思えるものを持ち帰ってもらえたりすることもあったが、何度か継続的に参加

される中で少しずつ会話が増える親子もあった。中には、前回の相談のとおり実践してみて改善した、という声や話ができただけで楽になったという人もあった。

「6. 実施内容」に記載した通り、市民公開セミナーは大変、反響が大きく継続実施の希望が相次いでいる。市民公開学習会は市民公開セミナー直後で案内期間が短かったこともあり、終了後に内容の問い合わせがあることもあった。講師や会場の都合もあるが、開催日程をもっと調整できると良かった。

広報の方法では、交付決定通知書の「補足意見」として、『印刷製本費、広告宣伝費、委託料においては削減努力が必要と考えられるため、申請額から減額して交付します。広報の手段についてはSNSや市の広報誌の活用など、様々な方法を検討してください。』とのご意見を頂戴していた。定期開催、市民公開セミナー、市民学習会ともに「きらり☆亀岡お知らせ版」に記事を掲載していただいたところ、直後に申し込みが増え、紙媒体の広報をさらに行っても受け入れ出来ない事態となった。同じ人が先々まで連続して予約しないように、予約開始日を規定したり、15組を超えるとキャンセル待ち予約にする、活動内容によっては15組を超えても受け入れるなどで対応したが、「初回だが前回もキャンセル待ちのままです」という訴えもあった。ニーズのある様々な親子が参加できるように検討する必要性がある。

また、市民公開セミナーにおいては、行政、図書館、企業の掲示版、新聞など多くの方法で広報を行った。その結果、子育て世代以外にも他職種の方に参加していただけるものとなった。反面、子育て世代が参加しやすいものであったか、という点では会場、託児、時期など検討の余地があると思われる。

定期開催の子育てひろばでは、保護者間の交流もさかんに見られている。しかし、参加人数が多い中では悩みを話し辛いという方もあるようだ。地域の子育て世代のつながりの一つの場として、また子育てや発達に関する専門的な相談ができる場としての「子育てひろば」はまだまだ果たすべき役割があると思われる。

8. 今後の展開 事業の実施成果と課題を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのが、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。

- ・子育てひろば「まな」の継続実施
- ・市民公開セミナー、市民公開学習会の継続開催
- ・個別相談がしやすい環境の工夫
- ・幅広い広報手段の確立
- ・関係機関との情報交換、交流、協働

「まな」のこれまでの活動に比べて、今年度の交付事業としての実施により提供できる幅を拡充し、スタッフのスキルアップを図ることができた。これを、今後も多くの子育て世代、子どもたち、地域社会全体に還元していきたい。

9. 協働の効果 今年度の事業実施にあたって、他団体等と協働（協力）された事例がある場合は、その効果や今後の関わり方について、記入してください。
※市民連携事業に関わらず、他団体との関わりがあった場合は記入してください。

広報を依頼した関係諸機関とは、顔を見てのやりとりが行えたことで、普段からの相談業務、児童発達支援事業、子育て支援においてスムーズな連携がとりやすくなった。

参加者も、紹介元があることで安心して参加されている。

今後も、子育てひろばを通して、協働を継続していきたい。

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料がある場合は添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。

平成30年度 子育てひろば「まな」 定期開催

月	日	内容	参加人数	相談件数
4	10	親子で楽しむリトミック	5	2
	17	絵本の読み聞かせとおもちゃ遊び	3	3
	24	折り紙制作遊び、コーヒーブレイク	5	2
5	8	トランポリンとマット運動遊び	7	1
	15	工作遊び、コーヒーブレイク	2	2
	22	元気に運動遊び	4	3
	29	親子で楽しむリトミック	5	3
6	5	絵本の読み聞かせとおもちゃ遊び	3	3
	12	運動遊び、走ってとんで	7	2
	19	親子で楽しむリトミック	4	3
7	2	感触あそび	2	2
	9	トランポリンとブランコ、すべり台で運動遊び	6	1
	23	親子で楽しむリトミック	4	3
	30	夏祭り遊び、コーヒーブレイク	3	3
8	6	花火の制作遊び	2	2
	27	親子で楽しむリトミック	7	2
9	3	トランポリン、ブランコ、すべり台の運動遊び	6	1
	10	楽器あそびと歌遊び	5	1
	24	ボール遊び、運動遊び	3	3
10	2	親子で楽しむリトミック	6	2
	9	知育遊びと絵本の読み聞かせ、リフレッシュ体操、コーヒーブレイク	4	4
	16	親子で楽しむリトミック	11	0
	23	知育遊びと絵本の読み聞かせ、リフレッシュ体操、コーヒーブレイク	16	0
11	6	お母さんと知育おもちゃを作って遊ぼう	14	1
	13	赤ちゃんの元気体操とわんぱく遊び	12	2
	20	知育遊びと絵本の読み聞かせ、リフレッシュ体操、コーヒーブレイク	16	1
	27	親子で楽しむリトミック	9	1
12	4	パラバルーンとトランポリンで元気に遊ぼう、コーヒーブレイク	19	3
	11	飾って楽しいリース作り	19	2
	18	親子で楽しむリトミック～クリスマスバージョン～コーヒーブレイク	15	3
	25	親子で進もう段ボール迷路	12	1
1	8	大型遊具(トランポリン・ブランコ・ボルダリング)とサーキット遊び	11	3
	15	親子の“ほっかほか”ふれあい遊び	12	4
	22	親子で楽しむ体操リトミック	10	2
	29	親子で楽しいふれあいリトミック	10	1
2	5	トランポリン・ボルダリング・ブランコで元気に遊ぼう	9	1
	12	手作りおもちゃと知育玩具遊び	10	1
	19	知育玩具遊びとお母さんのリフレッシュ体操	7	3
	26	親子で楽しむリトミック	15	3
3	5	春だよ、全員集合！ミニ運動会	12	2
	12	“にっこにこ”親子のふれあい遊び	10	2
	19	親子で楽しむリトミック～花～	10	1
	26	飾って楽しいデコ写真作り	16	2
合計			368	87

子育てひろば「まな」 市民公開セミナー

平成 30 年度 亀岡市支えあいまちづくり協働支援金 交付事業

心の安心の貯金通帳

～子どもの自己肯定感を育てるために大切なこと



「どうして、いつもこうなるの?」「どうすればもっと楽しい子育てができるの…」そんな思いを感じたことはありませんか。小児神経科医として多くの子どもさんとご家族に寄り添ってこられた家森先生をお迎えして、“今日から役立つ”子育てのポイントを一緒に考えます。どなたでも参加できるセミナーです。

講師：医療法人 家森クリニック理事長 **家森 百合子** 先生



<講師紹介>

京都大学医学部卒業後、渡米。安井病院小児科、聖ヨゼフ整肢園（現、医療福祉センター）小児科に勤務、同副院長に就任。京都武田病院小児発達外来勤務後、家森クリニック開設、同院長、理事長を歴任。著書「子どもの気持ちかわかる本 こころの安心の貯金通帳」（クリエイツかもがわ）他、多数。

日時：2018年11月18日（日）10:00～12:00

（受付 9:30～）

場所：京都学園大学 京都亀岡キャンパス 悠心館3階

（亀岡市曾我部町南条大谷 1-1）

参加費：**無料**

無料駐車場あります

定員：120名（先着順）

定員になり次第、締め切ります。



<申し込み方法> いずれかの方法でお申込みください。

電話：0771-55-9366

FAX：0771-55-9367（裏面に記載し、送信してください）

メール：kukuamana@yahoo.co.jp（QRコードが利用できます）

件名を「セミナー参加申込」とし、①氏名（ふりがな）②お住まいの市町村 ③電話番号 ④駐車場利用の有無 ⑤関係者の場合はご所属と職種、をご記入ください。

申込期限： 11月16日（金）



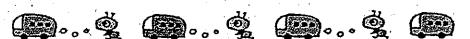
<子育てひろば「まな」>

毎週火曜日 10時～11時半

「くくあ」にて無料開催しています

フェイスブックはこちらから

<https://www.facebook.com/kukuakosodatehiroamana/>



<お問い合わせ・申込み先>

NPO 法人アシスト ふれあいハート

子育てひろば「まな」

（児童発達支援事業所「くくあ」）



子育てひろば「まなkids」学習会

子どもを魅了する感覚の世界

～スヌーズレンに学ぶ～

～感覚の不思議、感覚が生み出すもの～

参加料・資料代

無料

【日時】 12月15日(土) PM14:30～PM16:00

【会場】 第3放課後等デイサービスセンター(亀岡市安町釜ヶ前32-1)

【参加資格】 どなたでも(先着50名)

* 感覚がもたらすもの

* 感覚が広げる余暇

* 感覚の種類

* 豊かな感覚と発達

* リラクゼーション・リラククス

* 日々の生活にちよい足し

担当
作業療法士
新井 紀子

ミニスヌーズレンの無料体験ができます(ご希望者のみ)

FAX 0771-55-9366

お申込み
お問い合わせ

TEL 0771-55-9367

MAIL kukuamana@yahoo.co.jp

無料駐車場が利用できます
(台数には限りがあります)